

PLAN-DO-TOSHO ～東商生による学校広報活動とその効果に関する考察～

愛知県立東海商業高等学校

課題研究「PLAN-DO-TOSHO」

総合ビジネス科3年 加古愛実・権田綾奈・伴野仁美・矢野 愛・加藤優希・高松 優
情報科3年 竹内佑太郎・廣戸梓二・都築直也・久野穂実・齊藤朱香・中野朝香
野口愛梨・深谷佳紀・伊藤 雅・吉田満里奈

1 はじめに

私たちが3年生で学習する「課題研究」という科目は、生徒自ら商業に関する課題を設定し、その課題について研究・発表するというものです。東海商業高校では、平成25年度は全部で21の講座が開設されており、私たち「PLAN-DO-TOSHO」講座もその一つです。「PLAN-DO-TOSHO」講座は平成21年度より開講され、講座名のとおり「自分たちで計画（PLAN）を立て、実行（DO）し、東商（TOSHO）をアピールしよう」という活動を行っています。

2 PLAN-DO-TOSHO の活動実績

(1) 東海商業に関するプレゼンテーション

東海商業高校を中学生に広く知っていただくために、毎年夏休みに実施される一日体験入学で学校紹介を実施したり、中学校で行われている進路説明会に私たちが直接出向き、プレゼンテーションを行ったりしています。昨年度は、知多地区の中学校6校で実施させていただきました。今年度は、1学期に知多および名古屋地区の3校からオファーをいただき、プレゼンテーションを実施させていただきました。



東商生による中学校での学校紹介

(2) 東海商業 PR のためのポスター・パンフレットの作成

学校でのさまざまな出来事を生徒の目線からお伝えする学校新聞「TOSHO NEWS」を月に一度発行するとともに、学校案内用のパンフレットも私たちが手作りしています。もちろん、先生方が作成された公式なパンフレットもあるのですが、中学校に出かけたときなど、私たち高校生からの生の情報としてプレゼンテーションを実施しながら配布しています。

本校では、私たちの講座以外にもたくさんの講座が地域と密着・連携して、さまざまなイベントに参加しており、そのPRポスターを作成しています。また、昨年は地元の中学校からの依頼を受けて、中学校の先生方による研究会のパンフレットも作成させていただきました。中学校の先生方から「東海商業の生徒に



授業で作成した学校紹介パンフレット

依頼してよかったよ」と声をかけていただき、とても嬉しかったです。

3 PLAN-DO-TOSHO の今年度の新たな取り組み

この4月から、私たち16名が学科やクラスの垣根を越えて、東海商業のPRのために活動しています。これまで4年間、「PLAN-DO-TOSHO」の先輩方が作られてきた実績と伝統を継承しつつ、私たち平成25年度「PLAN-DO-TOSHO」として、何か新しい取組を行おうということになりました。

(1) アンケート調査を行い、効果的な学校広報に向けた改善点を探る。

私たちの活動がどの程度認知されていて、どのような印象を持たれているのか、またこれからどのようなプレゼンテーションを行っていけば、より効果的な学校広報を行うことができるかを探るため、アンケート調査を行い改善点を探ることにしました。

(2) 母校を訪問し、中学校の先生方に商業高校の説明を行う。

「PLAN-DO-TOSHO」のメンバー全員がそれぞれの母校を訪問し、お世話になった先生方に、自分たちが高校に入って頑張ってきたことなどを報告するとともに、商業高校に関する説明を行いました。中学校の先生方は、自分たちの訪問を喜んでくださるとともに、取得できる検定や進路先、部活動のことなどを熱心に質問していただきました。また、私たち「PLAN-DO-TOSHO」の活動に興味を持っていただき、母校で東海商業のプレゼンテーションを行なわせてもらえるようアピールをしてきました。



ブレインストーミングによるアンケート調査項目の設定



母校訪問および商業高校に関する説明

4 アンケート実施にあたっての仮説

私たちは、学校広報を行ううえで有益な情報を得るためにいくつかの仮説を立て、現在の中学3年生および本校の1年生を対象としたアンケートを作成しました。

(1) 中学生はどのような方法で高校の情報を得ているのか

自分たちの経験から、インターネットを利用したり、体験入学に参加したりして情報を得ているのではないかと考えました。

(2) 行きたいと思う高校の何について知りたいのか

中学生が知りたいポイントとして私たちが考えたことは、「学習内容」、「部活動」、「行事」の3つです。中学生は商業科目については全く知らないので、学習内容については特に気になるのではないかとという意見が多く出ました。

(3) 商業高校に対するイメージ

私たちが中学生のころに抱いていた商業高校のイメージは、「普通科目の勉強が少な

く、コンピュータの勉強が多い」というものでした。よって、現在の中学生もそのようなイメージを持っているのではないかと考えました。

(4) 入学してから、知っておきたかったと思うことは何か

私たちは学校広報活動を通じてたくさんの情報を発信しているつもりです。ただし、まだまだ広報が不十分な分野もあるのではないかと感じ、本校1年生対象に調査を行うことにしました。

5 アンケート実施後の検証

先に述べた母校訪問の際、中学校の先生にアンケートの協力を依頼し、11校850名の中学3年生からの回答を得ることができました。

(1) 中学生はどのような方法で高校の情報を得ているのか

Q.行きたいと思う高校について調べたいとき、何を利用します(2つまで回答可)										
a 学校パンフレット(ポスター) b インターネット c 体験入学(説明会) d 中学校の先生からの情報 e 卒業生(先輩)からの情報 f その他										
中学生	男	女	総計	%	東商生	男	女	総計	%	
a	205	200	405	24.7%	a	25	73	98	17.2%	
b	258	263	521	31.7%	b	58	98	156	27.4%	
c	210	228	438	26.7%	c	57	146	203	35.7%	
d	67	46	113	6.9%	d	22	36	58	10.2%	
e	82	64	146	8.9%	e	15	30	45	7.9%	
f	10	8	18	1.1%	f	3	6	9	1.6%	
総計	832	809	1,641		総計	180	389	569		

仮説どおり、インターネットを利用している人が最も多く、次いで体験入学や学校説明会、パンフレットを利用するという結果でした。東商1年生対象のアンケート結果からも、新入生の多くが体験入学に参加しているということがわかりました。

また、私たちが考えていたよりもパンフレットから情報を得ている中学生が多く、私たちが授業で作成しているパンフレット「School Guide」や学校新聞「TOSHO NEWS」の配布機会を増やすなど、多くの人に見ていただくことによって、効果的な学校広報につながるのではないかと思います。

(2) 行きたいと思う高校の何について知りたいのか

Q.行きたいと思う高校の何について知りたいですか(2つまで回答可)										
a 行事 b 授業の内容 c 部活動の様子・実績 d 取得できる資格 e 卒業後の進路 f その他										
中学生	男	女	総計	%	東商生	男	女	総計	%	
a	132	143	275	16.6%	a	28	64	92	15.7%	
b	193	186	379	22.9%	b	19	49	68	11.6%	
c	241	185	426	25.8%	c	36	67	103	17.6%	
d	87	90	177	10.7%	d	58	119	177	30.2%	
e	184	192	376	22.8%	e	43	95	138	23.5%	
f	8	11	19	1.2%	f	5	3	8	1.4%	
総計	845	807	1,652		総計	189	397	586		

中学生のアンケートで最も多かったのは「部活動」についてでした。一方、東商1年生へのアンケートでは取得できる資格について知りたいという人が最も多く、商業高校への進学を考えている人は、高校在学中に取得できる資格に対して興味・関心が高いと

いえるのではないのでしょうか。アンケート回答の多かった項目に関しては、私たちの仮説どおりの結果になりましたが、中学生全般の意識として、高校入学だけでなく卒業後の進路について知りたいと考えている人が多いことがわかりました。

(3) 商業高校に対するイメージ

Q. 商業高校に対してあなたが持っているイメージは何ですか(2つまで回答可)										
a コンピュータ関連の勉強ができる b 電卓の計算技術を学べる										
c 会計関連の勉強ができる d 部活動が盛ん e 普通科目の勉強が少ない f その他										
中学生	男	女	総計	%		東商生	男	女	総計	%
a	256	242	498	33.7%	a	70	148	218	37.3%	
b	108	119	227	15.4%	b	24	45	69	11.8%	
c	158	121	279	18.9%	c	34	63	97	16.6%	
d	69	68	137	9.3%	d	28	54	82	14.0%	
e	131	128	259	17.5%	e	32	77	109	18.6%	
f	36	42	78	5.3%	f	3	7	10	1.7%	
総計	758	720	1,478		総計	191	394	585		

私たちが中学生のころに持っていたイメージと同様に「コンピュータの勉強をする、普通科目の勉強が少ない」というイメージが強いということがわかりました。ただ「進学が難しい」というイメージを持っている人もいたので、「商業高校＝就職」というイメージを無くしていくためにも、学校広報の際、進路状況に関する内容を充実させる必要があるのではないかと考えています。

(4) 入学してから、知っておきたかったと思うことは何か

東商1年生対象アンケートにおいて記述式で回答をしていただきました。回答を分析すると、「部活動」「勉強」「学校行事」についてもっと知れたかったと答えた人が多く、まだまだ伝えきれていない部分があると感じました。また、学科や校則のことについても知りたいという回答が多数あったので、今後のプレゼンテーションの内容の参考にしていきたいと思いました。

6 今後の課題(まとめ)

今回のアンケート結果から、今まで先輩たちが築き上げてきたプレゼンテーションは、中学生が知りたいと思うポイントをしっかりと伝える内容になっているということを改めて実感しました。しかし、まだまだその内容が十分に伝わりきっていないということも判明しました。今後はこのアンケート結果を生かし、中学生にさらに東海商業をPRできるように、より効果的なプレゼンテーションを行っていききたいと思います。



またプレゼンテーション以外でも、インターネットを利用する中学生が多かったことに着目し、学校のホームページに私たちの目線でいろいろ伝えられるようなページをつくるなど、新たな取り組みにも挑戦していききたいと思います。

これからも、東海商業は笑顔あふれる学校であり続けます。

そのことを、私たち「PLAN-DO-TOSHO」が中学生に伝え続けていきます！！